

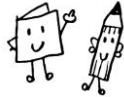


第2回校内授業研究会

平成30年10月31日(水)

研究テーマ「対話」と「協同の学び」を軸にした学校づくり

<本年度の取り組み>



- ☆ 生徒の机の高さをそろえる。
- ☆ 生徒が考えたり話し合ったりする時間を確保するために、板書量を減らす工夫をする。
- ☆ 授業の最初に「めあて」を明示する。
- ☆ 積極的に職員同士で授業参観をする。
(時間に余裕がない時は、見たい視点ごとの15分間を参観する
導入：前半15分/共有課題：中程15分/ジャンプ課題：後半15分)
- ☆ 教卓を横にどけ、生徒との距離を近づける。

< 課題 >

- ★コの字型の机配置をいかし、生徒の発言をうまく他の生徒につなぐ。
- ★「ジャンプの課題」の設定を工夫する。
- ★学び合いがうまく機能しないグループへの支援方法を探る。
- ★生徒が興味を持つような授業展開を考える。
- ★勉強の苦手な生徒への支援のあり方、指導方法を探る。
- ★教師の言葉を減らす。
- ★声のトーンを下げ授業のテンションを落とす。
- ★視聴覚機器(タブレット、電子教科書)等を活用する。
- ★ユニバーサルデザインを意識する。



<本日の協議会の目標>

- ・生徒の学びの様子を中心に話し合い、つなげて教師の学びを深め、共有しよう。→ 同僚性を高めよう
- ・授業提供者が、提供してよかったと感じられるようにしよう。

①「教室のできごと＝生徒の学びの様子」

どこで学びが成立したのか
どこで学びがつまづいたのか
きき合う様子



②全員で、生徒の個人名を出して発言しよう。他の人の発言につなげよう。